

3 6

羽部川

3 7

福井川

3 8

黒田川 半田川

36)羽部川  
2.  
h = 1.5 m。  
頭首工。



36)羽部川  
3.  
h = 1.5 m。



36)羽部川  
4.  
h = 3 m。  
魚の遡上は不可能である。



36)羽部川  
1.  
h = 1 m。  
護岸を固め、段差工が入る。



羽部川  
福井川





36)羽部川  
5.  
h = 2 m。  
護岸を固め、段差工  
が連続するため、魚  
の影は見られない。



36)羽部川  
6.  
h = 1 m。  
蛇籠を付設している  
が、魚はいない。



36)羽部川  
7.  
h = 2 m。  
魚の遡上不可能であ  
る。



36)羽部川  
8.  
h = 1.5 m。



36)羽部川  
9.  
風倒木地の崩壊。



36)羽部川  
10.  
h = 1.5 m。  
床固めと段差工が連  
続し、魚はいない。





36)羽部川  
11.  
 $h = 1\text{m} + 1.5\text{m}$ 。  
床固め+段差工が連続する。



36)羽部川  
12.  
 $h = 1.5 \times 2\text{m}$ 。  
同上。



36)羽部川  
13.  
 $h = 10\text{m}$ 。

36)羽部川  
14.  
間伐林状況。  
下草が生え、良好な状態にある。



36)小谷  
15.  
川床は玉石を敷き詰め、三面張となっている。コンクリート張よりは良いが、魚は見られない。



36)小谷  
16.  
河川状況。  
川床は自然の礫が分布する。







36)小谷  
17.  
h = 1.0m。頭首工。  
魚はなんとか遡上可  
能であろう。



36)小谷  
18.  
川床状況。  
自然谷で、一部に露  
岩し、淵もあるが、  
小谷である。



37)福井川  
19.  
h = 1.0m。頭首工。  
魚は遡上可能である。

37)福井川  
20.  
h = 0.5m。頭首工。  
頭首工はあるが、自  
然に近い状態である。



37)福井川  
21.  
h = 1 m。



37)福井川  
22.  
三面張+段差工が連  
続し、魚はいない。



36

福井川





37)福井川  
23.  
 $h = 1.2\text{m}$ 。  
山椒魚の遡上は不可  
能である。



37)福井川  
24.  
 $h = 1.5\text{m}$ 。  
段差工と床固工。



37)福井川  
25.  
 $h = 1.0 \sim 1.5\text{m}$ の段  
差工が連続しており、  
魚の生息・遡上は困  
難である。



37)福井川  
26.  
三面張と段差工が連  
続する。魚の遡上は  
困難で、姿も見られ  
ない。



37)福井川  
27.  
 $h = 1.5\text{m} \times 2$ 。  
段差工があり、魚の  
遡上は困難である。



37)福井川  
28.  
 $h = 1.0\text{m} \times 2$ 。  
同上。





37)福井川  
29.  
h = 1.5m。  
魚の遡上は困難。  
魚はいない。



37)福井川  
30.  
川の状態。  
自然の流れである。



37)福井川  
31.  
同上。  
植林のため裸地が多  
く、土砂が流出し易  
い。

37)福井川  
32.  
斜面状況。  
植林地は裸地で、降  
雨時には土砂が流出  
し易く、虫・小鳥等  
もほとんど見られな  
い。



37)福井川  
33.  
砂防ダム。  
h = 7.0m。  
魚の移動は断たれる。







38)黒田川  
34.  
倒木地の斜面崩壊。



38)黒田川  
35.  
風倒木。  
左半分は根こそぎ倒れ、右半分は木が細いため幹が曲がっている。



38)黒田川  
36.  
倒木地の斜面崩壊。

半田川  
37.  
頭首工。h = 1 m



半田川  
38.  
床固め工。h = 3 m  
魚の遡上は不可能である。



半田川  
39.  
コンクリート水路。  
魚は生息不可能である。







間所  
40.  
風倒木地の崩壊。



間所  
41.  
植林地は地下へ伸びる直根が育たず、横方向への張りも弱く、  
  
団子状の毛根が主体のため、倒木し易い。



間所  
42.  
根は団子状で貧弱である。